

感染症週報〔市内週報 平成24年第35週〕

結核・感染症発生動向調査

平成24年9月4日

平成24年第35週感染症発生状況【川崎市内】

平成24年8月27日～9月2日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成24年第1週以降)
<p>第35週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) 手足口病でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり3.59人と前週(3.63)より患者報告数はやや減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。</p> <p>手足口病は定点当たり1.66人と前週(0.66)より患者報告数は増加しましたが、例年よりやや低いレベルで推移しています。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症の届出が2件(①推定感染経路：不明、推定感染地域：日本 ②推定感染経路：不明、推定感染地域：日本)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 271件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2件	細菌性赤痢 1件、腸チフス 2件 腸管出血性大腸菌感染症 11件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	E型肝炎 2件、 A型肝炎 1件、デング熱 2件、 マラリア 2件、レジオネラ症 6件
	5類感染症	梅毒 1件	アメーバ赤痢 11件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 11件、梅毒 8件 破傷風 1件、風しん 36件、麻しん 2件



